



～一日一笑～  
笑で心もからだも「健康」

第34回小見川出前寄席 撮影：10月20日(土)

## 9月定例会 一般会計補正予算・平成23年度決算など36議案を可決・認定 来々4月から 香取市学校給食センター供用開始へ

平成24年9月定例会は、8月28日から9月21日までの25日間にわたり開催されました。本定例会には、市長提出の平成24年度補正予算議案など17件をはじめ、人権擁護委員の推薦に関する人事案件6件、平成23年度決算認定の12件、議員提出の発議案1件、陳情1件が提出され審査されました。

28日の初日は、諸般の報告、会期の決定に続き、市長が提案理由説明の中で、市政運営や提出議案等の概要について述べました。

21日の最終日は、各委員任委員会が開かれ、付託された議案等の審査が行われました。

30日は、議案16件・陳情1件を各常任委員会に審査を付託、決算認定12件については、2人の議員から質疑の後、決算審査特別委員会を設置して付託。

長から付託された案件についての審査結果が報告され、採決した結果、平成24年度香取市一般会計補正予算など議案16件、市長提出の追加議案1件、人事案件に関する諮問6件、平成23年度決算認定12件、議員提出の発議案1件については、いずれも原案のとおり可決・適任者と決定・認定とし、次に農業委員会委員4人の議会推薦が行われ女性委員4人を推薦、次に議会改革検討特別委員会委員長から協議・検討に関する中間報告が述べられ全日程を終了しました。

5日・6日の一般質問では、9人の議員が市政全般にわたり質問を行いました。10日から12日は、決算審査特別委員会の審査が行われ、11日の午後2時46分には、東日本大震災から1年6か月となったことから震災の犠牲者に対して、全員で1分間の黙とうを捧げました。13日・14日は、各常

議案第11号 香取市市民センターの設置及び管理に関する条例の制定について  
現在建設中の香取市小見川市民センターが、来々4月にオープンする予定であるので、この施設の設置及びその管理に関する事項を条例で定めるものです。

### 可決された主な議案

**議案第11号** 香取市市民センターの設置及び管理に関する条例の制定について  
現在建設中の香取市小見川市民センターが、来々4月にオープンする予定であるので、この施設の設置及びその管理に関する事項を条例で定めるものです。

**議案第13号** 香取市立小学校設置条例の一部を改正する条例の制定について  
平成25年4月1日付けで、大東分校を本校である新島小学校に統合することに伴い、別表から大東分校を削除するものです。

**議案第15号** 財産の取得について  
防災行政無線戸別受信機3500台の購入について、去る8月6日に指名競争入札を行った結果、千葉市中央区都町1254番地6 スイス通信システム(株)が、8636万2500円で落札したので、同社と物品売買契約を締結するにあたり、議会の議決を求めるものです。今回購入する防災行政無線戸別受信機は、主に小見川中央地区の交換貸与用です。

**議案第16号** 財産の取得について  
(仮称)香取市学校給食センター消耗品の購入について、去る8月22日に指名競争入札を行った結果、千葉市若葉区西都賀2丁目7番5号(株)関東三貴が、1億179万7500円で落札したので、同社と物品売買契約を締結するにあたり、議会の議決を求めるものです。

### 9月定例会の日程

8月28日(火)	本会議
30日(木)	本会議
9月5日(水)	本会議(一般質問5名)
6日(木)	本会議(一般質問4名)
10日(月)	決算審査特別委員会
11日(火)	決算審査特別委員会
12日(水)	決算審査特別委員会
13日(木)	総務企画常任委員会 福祉教育常任委員会
14日(金)	経済建設常任委員会
21日(金)	本会議

# 一般質問 市政のこころがききたい

一般質問は、市長などに市政全般に関する疑問点や方針などをたずねるものです。

9月定例会では、9月5日(水)・6日(木)にかけて、9人の議員が、一般質問を行いました。紙面では、その一部を要約して掲載しますが、詳細については、議会ホームページ・会議録をご覧ください。(10頁に閲覧についての説明があります)

## 小見川総合病院の存続と建て替えは市民の切なる願い

河野節子 議員

**問** 小見川総合病院の今後のあり方に係る調査報告書から5か月を経過するが、市としてどのように分析、検討しているか。

**答** 小見川総合病院については、構成市町間で十分な協議をし、病院組合議会で議論することになります。香取市としては、



小見川総合病院

県立佐原病院の今後の動向から方針を出していかねば、県は動けないのでは。

**答** 県立佐原病院の方向性をしっかりと見据えた上で、小見川総合病院の方向性を見出し、いかにしなければなりません。県立佐原病院の方向性というものは、数ある結果を出すための必要な情報の一つであります。

**問** 検討委員会の設置とメンバーは。

**答** これらは、現在、県と交渉中ですが、検討委員会の委員については、

香取市から市長、副市長、市民福祉部長、小見川総合病院側から、事務長、総務課長、千葉県側は議長、健康福祉担当部長、健康福祉政策課長、政策副参事、病院局長となっております。

**問** このテーマに限った市民との懇談会を開く考えは。

**答** 考慮させていただきたいと思えます。

**問** 調査報告書には、建て替え事例も報告されているが、今後、建て替えを決定した場合、本市の財政負担も相当な額になると思うが、市として検討しているのか。

**答** 今後の計画及び予算等については、病院組合において検討されるものと考えています。

**問** 建て替える場合の今後のスケジュールは。

**答** 最終的には、病院組合で方向性を出すこととなりますが、県の方向性を確認しながら協議して進めることとなります。

**問** 幼保一元化による子ども園構想の進捗を問う

**答** 生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育の重要性に鑑み幼稚園

**問** 生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育の重要性に鑑み幼稚園

**答** 生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育の重要性に鑑み幼稚園

と保育園のそれぞれの長所を生かした総合子ども園構想の取り組み状況は。

**答** 本年7月に全庁的な組織として、幼保一元化施設整備プロジェクト推進会議を設置し、幼保一元化施設の整備に向けた検討を開始しています。これまで5回ほど会議を開催し、幼保一元化の制度設計、施設内容について調査、検討を行いました。また、市内の民間保育所及び幼稚園の意見も懇談会を通じて伺い、反映したいと考えています。なお、幼保一元化施設整備計画は、本年度中に作成する予定です。

**問** 具体的に進めている園は。

**答** 現在、東日本大震災での被害状況及び施設の老朽化から、小見川中央保育所と小見川幼稚園を一番先に進めたいと考えています。

**問** 幼稚園教諭と保育士との相互研修は進んでいるか。

**答** まずは、幼保一元化の施設の制度設計の検討を行い、次の段階で職員間の体制や相互研修等についても検討したいと考えています。

**問** 一元化にあたっての支障となるものは何か。

**答** 幼保一元化の協議の中で、保育時間帯の

**問** 老朽化した施設、耐震化が必要な施設について幼保一元化に伴って施設新設の構想は。

**答** 小見川地区の場合、現在の小見川中央保育所の場所は、地盤が悪いと考えていますので、今後において、小見川中心部あたりで地盤の良い場所を確保し、新設したいと考えています。

**問** 東日本大震災では、これまで経験したことがない未曾有の大震災であったこともあり、この計画を十分に生かすことができず、このことを踏まえ、県が本年6月に示した防災計画修正案を基準に計画の見直しを行っています。また、放射能対策に関して、県の8項目の中の最終項目に記載されていますが、本市も同様の表現になるものと考えています。

**問** 高齢者タクシー制度の見直しで買い物利用も可能にせよ

**答** 高齢者タクシー制度は通院だけでなく、買い物にも利用できるようにすべきではありませんか。

**答** 現在、デマンドタクシーを検討中で、香取市が広域であることによる、その費用対効果やタクシー利用時の運賃も含めて検討しています。

**問** 太陽光発電は、自然可能エネルギーヘシフトすべきという世論の高まりで脚光を浴びている。公共施設への設置促進を図るべきではないか。

**答** 本市においても、防災拠点や災害時に機能を保持すべき避難所・学校等の公共施設への導入は非常に重要であると考えています。

**問** 岩手県山田町との友好都市の再締結をめざしてください

**答** 岩手県山田町とは震災後も交流を一層深めています。友好都市の締結としてはどうですか。

**答** 友好都市の締結については、本年7月15日に町長選挙があり、新たに就任された佐藤町長が、町政全般の把握等に若干の時間を要することである

## 市内の歴史民俗資料文化財の展示施設の建設をめざします

宇井正一 議員

**問** 旧山田町で収集した民具や農具の保管展示はどのように進めていますか。

**答** 現在、資料保管の方向性について検討を指示していますが、これは山田地区だけではなく、香取市全体の一つの方向性を決めていくものと捉えています。旧山田町で収集した資料の保管・展示場所については方向性が決まり次第、山田郷土史研究会と協議を行い、最終的な決定をしたいと思えます。

**問** 3・11東日本大震災から一年半になりましたが、防災計画に見直しはどのようになっていますか。

**答** 液状化対策は、高齢者・障害者などの避難誘導策はしっかり立て、東海第二原発事故に対する対策・廃炉もしっかり明記すべきでは。



山田バイオマスプラント

りますので、両市町にとって最良のタイミングで締結できるよう調整を図っています。

**問** 木材資源、糞尿・汚泥などの活用をバイオマスタウン構想で本格的に始動させてはどうか。

**答** この構想は、香取市総合計画や香取市環境基本計画を上位計画として、資源循環型社会の構築を推進するもので、実現にはコスト面などでの課題なども多いことから、今後も森林対策の関係者及び関係機関と連携して、市民の理解を得ながら、できるものから取り組みたいと考えています。

**問** 香取市における放射能測定経費などを東電へ請求すべきではありませんか。

**答** 現在、上下水道については、請求判断基準より所管課がそれぞれ請求をしていますが、その他の放射能対策経費にかかる損害賠償の請求については、各所管課が請求の根拠を明確にした上で請求書類を作成し、総務課で一括請求すべく準備をしています。



### 重度障害者医療費助成の 現物給付を一日も早く

坂本洋子 議員

**問** 県議会で、障害者団体が提出した「窓口無料化」を求める請願が全会一致で採択。県医師会他82団体が県知事に要請をしています。重度障害者の切実な願い実現のため香取市も県に要請すべきでは。

**答** 千葉県周産期医療体制整備計画では、「病院の小児科、産科の医師の確保が著しく困難な地域については、当面の対策として医療資源の集約化を推進する。」という国の指針に基づき、香取海浜地域においては、旭中央病院を周産期母子医療センターに指定しています。したがって、この計画に地域の課題を盛り込むことは困難と思われませんが、計画策定後の周産期医療を取り巻く状況や課題への取り組み状況の変化に応じて見直すことになっていきますので、その際、地域の課題として取り上げよう要望したいと考えています。

**問** 安心して出産できる環境づくりを目的とする「千葉県周産期医療整備計画」がたてられているが、香取地域でお産ができないという出産過疎状況を生み出す恐れはないか。

**答** これまで、助産師会から数回要望書が提出されて、担当課において話し合いを重ねています。市として、助産所の必要性は感じていますが、助産師会の体制や助産所の役割、運営方法などについて、十分見きわめる必要がありますので、今後継続して協議をしたいと考えています。

**問** 水道事業基本計画に佐原南部地域の上水道敷設計画を

**答** 水道未普及地域の井戸水検査では大腸菌、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素など飲料水として不適で推移している。合併特例債の期間延長を視野にいれ財源確保の調査研究と基本計画に位置づけて事業の検討を。

**問** 合併特例債は、公営企業の会計にとつては非常にハードルの高い制限がある。

**答** 合併特例債は、公営企業の会計にとつては非常にハードルの高い制限がある。

**問** 25年度運用開始の香取市学校給食センターの給食業務請負契約の方法は。

**答** (仮称)香取市学校給食センターの調理及び配送業務については、香取市学校等適正配置検討委員会の香取市における学校の適正配置のあり方についての第2次答申に基づき検討を重ねた結果、民間事業者が業務委託することになりました。

**問** 伊能敏雄 議員

**答** 伊能敏雄 議員

**問** 豊かさを求め発生する諸問題の解決に力を

**答** 豊かさを求め発生する諸問題の解決に力を

**問** 小中学校のいじめ問題は

**答** 小中学校のいじめ問題は

**問** 小学校の統廃合は子ども

**答** 小学校の統廃合は子ども

**問** 豊かさを求め発生する

産所の役割、運営方法などについて、十分見きわめる必要がありますので、今後継続して協議をしたいと考えています。

**問** 水道事業基本計画に佐原南部地域の上水道敷設計画を

**答** 水道未普及地域の井戸水検査では大腸菌、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素など飲料水として不適で推移している。合併特例債の期間延長を視野にいれ財源確保の調査研究と基本計画に位置づけて事業の検討を。

**問** 合併特例債は、公営企業の会計にとつては非常にハードルの高い制限がある。

**答** 合併特例債は、公営企業の会計にとつては非常にハードルの高い制限がある。

**問** 25年度運用開始の香取市学校給食センターの給食業務請負契約の方法は。

**答** (仮称)香取市学校給食センターの調理及び配送業務については、香取市学校等適正配置検討委員会の香取市における学校の適正配置のあり方についての第2次答申に基づき検討を重ねた結果、民間事業者が業務委託することになりました。

**問** 伊能敏雄 議員

**答** 伊能敏雄 議員

**問** 豊かさを求め発生する諸問題の解決に力を

**答** 豊かさを求め発生する諸問題の解決に力を

**問** 小中学校のいじめ問題は

**答** 小中学校のいじめ問題は

**問** 小学校の統廃合は子ども

**答** 小学校の統廃合は子ども

**問** 豊かさを求め発生する

**答** 豊かさを求め発生する

豊かさを求め発生する諸問題の解決に力を

小中学校のいじめ問題は

小学校の統廃合は子ども

豊かさを求め発生する

豊かさを求め発生する

豊かさを求め発生する

豊かさを求め発生する

豊かさを求め発生する

豊かさを求め発生する

豊かさを求め発生する

豊かさを求め発生する

豊かさを求め発生する

豊かさを求め発生する

た場合、調理配送等の衛生管理、業務管理等に混乱が生じ、品質の確保が難しくなる可能性が考えられることから一括発注としました。

**問** 伊能敏雄 議員

**答** 伊能敏雄 議員

**問** 豊かさを求め発生する

**答** 豊かさを求め発生する

**問** 小中学校のいじめ問題は

**答** 小中学校のいじめ問題は

**問** 小学校の統廃合は子ども

**答** 小学校の統廃合は子ども

**問** 豊かさを求め発生する

**答** 豊かさを求め発生する

豊かさを求め発生する

小中学校のいじめ問題は

小学校の統廃合は子ども

豊かさを求め発生する

豊かさを求め発生する

豊かさを求め発生する

豊かさを求め発生する

豊かさを求め発生する

豊かさを求め発生する

豊かさを求め発生する

豊かさを求め発生する

豊かさを求め発生する

豊かさを求め発生する

下請では、その契約価格は元請が市と契約した価格より下がる。直接市と契約するのでは、大きく違ってくる。市民による検討委員会では、調理配送とも民間委託を支持したが、実務者レベルの会議では、別契約の音はなかつたのか。

**問** 伊能敏雄 議員

**答** 伊能敏雄 議員

**問** 豊かさを求め発生する

**答** 豊かさを求め発生する

**問** 小中学校のいじめ問題は

**答** 小中学校のいじめ問題は

**問** 小学校の統廃合は子ども

**答** 小学校の統廃合は子ども

**問** 豊かさを求め発生する

**答** 豊かさを求め発生する

豊かさを求め発生する

小中学校のいじめ問題は

小学校の統廃合は子ども

豊かさを求め発生する

豊かさを求め発生する

豊かさを求め発生する

豊かさを求め発生する

豊かさを求め発生する

豊かさを求め発生する

豊かさを求め発生する

豊かさを求め発生する

豊かさを求め発生する

豊かさを求め発生する



来年度から新島小学校に統合される大東分校

置し、その中で意見集約を図っていきます。  
②今後の学校再編の実施については、地域が話し合

法については、スクールバスの運行を含め保護者、地域の方と話し合いを進めていきます。

い、市民協働により地域の方々の理解を得られるよう進めたいと考えています。  
③徒歩通学は、地域との交流や触れ合いなど、さまざまなメリットが考えられますが、統合後に遠距離通学になった場合には、通学の安全性を優先に考えています。このために、統合後の通学方

### 今必要な行政は何か、健全化のために何をすべきか

小野勝正 議員

**問** 財政健全化のために何をすべきかを考えているのか。

**答** 香取市においては、平成28年度以降、交付税額が段階的に減額されますが、行財政改革により経費の削減を図るとともに、現在、積み立ててある基金を有効に活用して、民生活に大きな影響が出ないよう行財政の運営に努めます。また、合併特例債事業も計画的に実施します。

**問** 人件費と福祉サービスについて、社会保障の仕組みから漏れているフリーター・非正規労働

**答** 内閣府が行っているパーソナルサポートを推進する仕組みを考えよ。

**答** 相談支援体制の充実を図ることは、福祉部門の課題でもあり、今後において支援体制の整備強化を図っていく中で、パーソナル・サポート・サービスの仕組みを活用したいと考えています。

**問** いじめについて今夏の状態はどうであったか

**答** 夏休みの期間中のいじめ相談件数とその内容はどのようなものか。

**答** 夏休み期間中に教育委員会が対応した相談は、周囲からの仲間は

傷にすること、悪口に関する4件でした。

**問** 表に出てこない内容は、どのように対処しているか。

**答** いじめは、暴力など目に見えないものはわかりませんが、仲間はずれやメールによる悪口、心理的に追い込むものもあり、教師に見つからないように、影に隠れて巧妙化しており、教員の研修や教育相談の充実を図り、見えにくいいじめの発見にも努めています。

**問** いじめは「いじめの側が100%悪い」という意識をもたせることが大切かどうか。

**答** いじめは人権侵害です。絶対に許されない行為であるということ、いじめの側が悪いという認識をすべての児童・生徒に持たせるということが必要

だと考えています。

**問** 通学路見直しの早急に手を打つことのできない危険な所についてはどうにか対処したか。

**答** 8月の合同点検では、危険な17か所を点検し、早急に改善できない場所については、可能な限り路面標示や看板

の設置により目立つようにしました。今後、すぐに改善できない危険な所については、関係機関と連携して対応策を検討したいと考えています。

**問** 災害時に地域を守るリーダーの役割をする防災士の養成を

**答** 自主防災組織は、十分な防災知識を備えたりリーダーが必要ではないか。

**答** 災害時におけるリーダーの役割として、最も重要な時間帯は、発災直後から72時間であり、一番必要なことは自助、共助であると考えています。各地域において迅速な初期対応ができる人材を育成することは、自治会や自主防災組織の方々に防災士の資格を取得していただくことも1つの方法と思えますが、現在は、地域の要請に応じ、消防署員が各種訓練の指導



今後の災害に備えて、地域で防災訓練を行う(小見川地区:入会地)

いと考えます。

**問** 地域の防災力向上のため防災士資格の取得を推進せよ。

**答** 自主防災組織の中で、防災士の資格が必要だということ、自主防災組織から多くの要請があれば検討したいと思いますが、現段階で、市はそこまでは考えていません。

**問** 受講料・登録料に61000円必要となるが、市で負担できないか。

**答** 自主防災組織が多くあり、防災士の取得に対する助成を求める要望が多くなってきた場合には、検討したいと考えています。

**問** 伊藤友則 議員

**問** 安全対策における、各種取り組みの詳細と今後について。

**答** 各小学校では、例年通学路の危険か所の点検を実施していますが、本年は8月に関係機関等との合同点検も実施し、安全対策の検討を行いました。短期的に改善が可能な場所については、早急に対応を行う方向で進んでいます。今後、生徒に対する安全教育の充実を図るために地域や保護者の協力を得ながら、登下校の安全確保に努め



通学路の子どもたちの安全を守る地域のボランティア

ます。危険か所の視察巡回や、対応・対策は、8月の合同点検の結果、各学校から16か所が危険であるとの報告を受けました。その後、学校・関係機関等で協議を行い、緊急性・危険性が高い17か所の合同点検を行いました。この合同点検に学校関係者・警察・県・市の担当職員などが出席しました。この他、全学校で安全計画を作成し、各種の安全指導を実施しています。

**問** 危険か所の視察巡回や、対応・対策は、8月の合同点検の結果、各学校から16

**答** 6か所が危険であるとの報告を受けました。その後、学校・関係機関等で協議を行い、緊急性・危険性が高い17か所の合同点検を行いました。この合同点検に学

**問** 児童の登下校時や在

**答** 登下校時に災害が発生した場合を想定して、通学路の危険か所をマップ等に表記して児童・生徒に周知するとともに、危険な構築物等からの回避方法など自分の身の守り方などを指導しています。また、状況により児童・生徒が安全に帰宅できない時は、保護者に引き渡しを行います。多くの学校で事前に保護者と共通理解を深めた上で、保護者を含む引き渡し訓練を実施し、児童・生徒の安全確保に努めています。

**問** 現場におけるツイッターの利用など安全確保のための情報や、保護者との情報共有なども研究してほしい。災害を想定した学校での避難訓練や備蓄等はどうか。

**答** 市役所庁舎内での情報共有等は、原則内報情報システムを活用しています。また、県・国との文書の伝達においても、電子情報による場合が増えて

**問** 教育委員会の災害想定の中で、河川等の決壊による水害が12校、地震による液化現象が18校あり、各学校では毎年避難訓練を小学校で平均3.3回、中学校が平均1.6回実施するとともに保護者への引き渡し訓練・登下校時の訓練なども行っています。また、各学校の食糧等の備蓄は、市の防災倉庫のある学校が6校、学校独自に水や食糧を備蓄している学校が6校で、残る21校は備蓄していないので、今後、各学校の現状を踏まえ、災害担当部署と連携を図りたいと考えています。

**問** 庁舎や各公共施設での節電の取り組みは、環境、エコ、各種軽減化などの取り組みとして、庁舎をはじめ、各公共施設において対前年度比15%以上の使用電力削減を目標に節電に努めた結果、本庁舎では、昨年7月から9月までの夏季3か月で目標を上回る約30%の節電を達成することができました。1年間では約20%と削減となっています。

**問** ペーパーレス化に向けて、紙の減量化の状況は。

**答** 市役所庁舎内での情報共有等は、原則内報情報システムを活用しています。また、県・国との文書の伝達においても、電子情報による場合が増えて



現在のJR小見川駅前

### 小見川市街地整備計画の進捗状況及び今後の計画について

高木 寛 議員

**問** 近年、景気が低迷している小見川地区の振興、活性化は市街地整備だと認識している。今年度から実施予定の小見川駅前整備計画の概要と現在までの進捗状況は。

**答** 小見川駅前周辺地区都市再生整備計画では、小見川駅前広場の整備、駅前小見川駅前広場と自転車駐輪場等の整備における用地の測量及び境界確定を進め、小見川駅前広場を約3030m<sup>2</sup>、駐輪場640台分、1240m<sup>2</sup>、駐車場13台分、340m<sup>2</sup>の整備を進めています。

**問** 今後における小見川地区の主要事業は何か。

**答** 現在、進められている駅前整備事業の他に、本町通り・

います。このように、ペーパーレス化はある程度、図られていると思います。しかしながら、市民への情報提供については、文書による伝達が依然として主になっており、市民との情報共有の推進と相まって、紙の消費量は逆に増加傾向にあります。

**問** 情報端末・タブレットの行政・業務運営

**答** 上の利用の可能性は。情報は携帯する時代になってきており、タブレット等の活用は紙の減量化にもつながると思います。ただ、個人情報等を庁舎外に持ち出すことや、インターネットによりダウンロードすることは、大きなリスクを伴うことから、導入については慎重に取り組みたいと考えています。

駅北口通りのまちづくり、黒部川の活用、駅北口の整備事業等を予定しています。

**問** 山田地区の振興は牧野の森整備事業から

**答** 山田地区の振興の中心は牧野の森整備事業であるが、その計画の概要と現在までの進捗状況は。

**問** 現在、検討を進めている牧野の森整備にかかると、現在の公園基本計画の概要は、現在の公園区域を拡大し、パークゴルフ場と、(仮称)生きがい交流館を整備する計画です。なお、多様な機能を持つ複合レクリエーション拠点として整備するために、現状の公園施設や駐車場などの再整備も含め検討を進めています。これらの進捗状況として、本年度に基本計画及び機能設計を策定することとなるっており、現在の業務を委託する業者をプロポーザル方式により決定したところです。

**問** 山田地区における今後の主要事業は何か。

**答** 山田地区の今後の主要事業として、橋ふれあい公園の他、道路関係の事業として、市道II-40号線仁良地先、II-43号線府馬地先を今年度中に完成をしたいと思います。その他、山田南部地区と山田支所、本庁を結ぶ市道I-57号線の進捗状況は、用地買収率が約89%に達しており、今年度小見川地区の一部区間を供用開始し、来年度以降も引き続き事業を進める予定です。

香取市まちづくり条例の推進について

**問** 今後の香取市における市民協働のまちづくりの中心となる住民自治協議会の現在までの設立状況は。

**答** これまでに13の住民自治協議会が設立されています。その地区別の内訳は、佐原3か所、小見川2か所、山田5か所、栗原3か所です。さらに、佐原と小見川で、現在、設立を検討している地域が4か所あります。

**問** 職員がまちづくりに参加するのは大変有意義なことである。住民自治協議会を支援する地区担当職員制度の概要と現状は。

**答** 地区担当職員制度は、住民自治協議会の相

**問** 証明書のコンビニ交付で市民サービスの向上を図れ

田代一男 議員

**問** 全国どこでも早朝から深夜まで交付できる「コンビニにおける証明書等の交付サービス」は、住民サービスを向上させるほか、窓口業務負担の軽減などコスト削減の効果にもつながる施策で、香取市への導入を提案するが、見解は。

**答** 本年2月に閣議決定された共通番号制度法案が可決された場合、平成26年12月末で住基カード

**問** 住民自治協議会の活動の中心はまちづくり計画であるが、その策定状況や活動状況は。

**答** 現在、9か所の協議会で地域まちづくり計画が策定され、事業計画により事業を開始しています。その活動内容としては、伝統芸能の継承者育成、高齢者とのふれあい、郷土史の作成保存、広報紙の発行などが行われています。

また、影響を受けるそれらの対策はあるのか。

**問** 年少扶養控除の廃止に伴う住民税増税の影響

**答** 年少扶養控除の廃止に伴い、子育て支援世帯への負担影響として、保育所の保育料や私立幼稚園就園奨励金補助金等があります。本市では、保育料算定において、税制改正における扶養控除廃止前の旧所得控除額で計算し、保育料に影響が生じないようにしています。私立幼稚園就園奨励金補助金については、市町村住民税所得割課税額を前年度の3万4500円以下から今年度は7万7100円以下に引き上げるなど、子育て世代に負担が生じないように取り組んでいます。

**問** 新児童手当の給付額と住民税の負担増で見た場合、家計の損得は、どうなるか。

**答** 住民税の年少扶養控除の廃止に伴う税額は、子ども一人当たり年間3万3000円、月額2750円の負担増となります。税制改正における家計への影響として、一般的な世帯では旧児童手当よりも増額されていることや受給期間が小学生までを中学生までに拡大されたことにより、旧児童手当制度との比較においても支援の充実が図れていると思います。

**問** 「まちなかバル」で商店街の活性化を図れ

**問** 商店街の活性化を図るため函館から始まった、まちなかバルの取り組み

**問** 香取市環境基本計画の進捗管理として、28項目の環境指標を設定し、毎年進捗状況の調査や取りまとめを行い検証してまいります。平成23年度実績では、ホテルの生息地確認か所数など12の指標で目標を達成しています。しかし、ごみ排出量など進捗が遅れているものも6項目ほどありますので、環境審議会や環境づくり協議に諮り、意見を聞きながら進捗してまいります。

**問** 「ホテルの生息地確認か所数」は何か所になっているか。また、市の取り組みである市民や学

みで商店街の活性化を図ってはどうか。

**答** この事業により参加店舗の認知度の向上、あるいは新規顧客の確保といった効果が得られますが、飲み歩きというその趣旨から店舗の集積度、店舗間の移動手段などの問題点が考えられます。しかしながら、このまちなかバルも商店街活性化の有効な手段の一つとして考えられますので、商工会議所、商工会等に事業の検討を働きかけたいと考えます。

**問** 来年度見直される「香取市環境基本計画」の進捗状況はどのようになっているか。

**答** 香取市環境基本計画の進捗管理として、28項目の環境指標を設定し、毎年進捗状況の調査や取りまとめを行い検証してまいります。平成23年度実績では、ホテルの生息地確認か所数など12の指標で目標を達成しています。しかし、ごみ排出量など進捗が遅れているものも6項目ほどありますので、環境審議会や環境づくり協議に諮り、意見を聞きながら進捗してまいります。

**問** 「ホテルの生息地確認か所数」は何か所になっているか。また、市の取り組みである市民や学

識経験者と連携をとりながら、身近な動植物の生息・生育状況調査は実施されているのか。

**答** 現在のホテルの生息地確認調査については、平成23年度で30か所を確認しています。また、ゲンジボタルの生息・生育状況の調査は、平成19・20年度において、市内3か所の生息地で、出現数、出現期間などのほか、成育環境の調査を実施しました。市では、この調査をもとに、環境保全に携わるボランティアの協力を得ながら、年1回、小学生を対象にしたホテル観察会などを開催し、参加者から好評を得ています。



山田地区新里のゲンジボタル



# 決算審査特別委員会から

8月30日の本会議で設置された決算審査特別委員会に平成23年度の決算認定12件が付託され、9月10日(月)から12日(水)までの3日間に審査が行われました。ここでは、主な審査内容を質疑と答弁などに要約して掲載します。

## 決算審査特別委員会

委員長	宇野 功
副委員長	高木 寛
委員	小林 康良
委員	田代 一男
委員	高木 典六
委員	伊藤 友則
委員	坂本 洋子
委員	平松大建明

## 総務部関連

**問** 住民情報系システムについては、住民記録・年金・各種福祉等がリンクされているのか。また、分断され各課で情報を管理しているのか。

**答** 住民記録との連携が図られており、それぞれ業務で情報が確認できる状態となっています。

**問** 職員の定員適正化計画に対して達成率はどのくらいになっているか。また、類似団体との比較は、定員適正化計画に対して、達成率は102・1%でした。平成22年度の統計値では、人口千人当たりの香取市の職員数は8・01人で、類似128団体の67番目となっており、今後も計画に沿って進めます。

**答** 当初、貯水槽を確認した職員から、貯水槽に水が溜まっていたという報告を受けましたので、水が抜けたものと想定しました。ところが、水道が通水できる状態になった時に再度、貯水槽を確認したところ水が溜まっていたことから、機材は壊れていなかったと考えられます。その後バルブ点検を依頼しましたが、正常に作動することとで、これらの状況から判断すると、職員の見間違い、あるいは、震災直後に飲料水が貯水されたものと考えられます。今後においては、3・11発災時の検証と反省に立ち、状況の再確認を義務付けるとともに、職員による機材点検を定期的に行います。すでに、総務課男子職員には貯水槽の取扱研修を実施しましたが、本年度中には、男子職員全員を対象に研修を実施したいと考えています。



耐震性貯水槽飲料水兼用100m<sup>3</sup>型の取扱い研修

## 企画財政部関連

**問** 住民自治協議会計画策定補助金と住民自治協議会事業補助金の違いと、支出先団体は。

**答** 住民自治協議会計画策定時に1回支援するもので、8件交付しました。その内、事業を実施した山倉・大角地区に事業補助金を交付しました。

**問** 平成23年度までに合併特例債で行われた主な事業と事業費及び今後の予定は。

**答** 情報サービス基盤事業、放課後児童クラブ整備事業、道路整備事業、消防車両の整備事業、小・中学校の耐震補強・大規模改修、リサイクル拠点整備事業等計39事業で、事業へ1スズで33億2760万円、それに基金28億5000万円を加えて61億7760万円となります。今後の予定は、新年度予算の協議の中で計画します。

**問** 公有財産管理システムの導入を行った中で、生じた問題点と解決時期は。

**答** 現状では、登記地目で公園・水道用地等の普通財産ではないものが含まれていることから、4月から担当職員が普通財産について、1筆ごとに確認を行っています。現在、確認の途中であり、膨大な事務量となりますので、作業終了の予測ができません。

## 市民福祉部関連

**問** 地域自殺対策緊急強化事業について、この事業の主な相談窓口として、中核地域支援センター香取ネットが365日、24時間体制で相談を受けています。これにより、かなりの成果があるものと考えています。また、香取保健所に確認したところ、平成23年度の香取市の自殺者は14人でした。地域住民と連携した自殺予防のための相談支援体制の状況は。

**答** 健康診査事業における未受診対策の現状は。

**問** 健康診査事業における未受診対策の現状は。

**答** 受診対象者へは、受診の1か月前に個別通知を行うとともに、広報紙などでもお知らせしています。また、妊婦に母子健康手帳を配布する際にも周知しています。未受診者については、担当保健師が受診者台帳により、すべての未受診者に対して受診を促すとともに相談にも応じています。

**要望** 報道等によると各種検診を受けずに、虫歯だらけになっている子どももいると聞く、これは1つのシグナルでもあるので、見落とさないようにされたい。

**問** 生活保護法に基づく生活保護に関する業務について、毎年、人口は減少しているが支給額が増加しているこの原因は。

**答** 本市の場合、高齢者の生活保護世帯の増加が大きな要因です。

## 教育委員会関連

**問** 学校評価・学校評議員制度の確立に関する業務について、学校評議員の意見集約とその意見が学校運営に反映された例はあるか。

**答** 学校評議員の意見については、把握していませんが、校長が適切に判断して学校運営に活かしていると考えています。

**問** 学校評議員の委嘱準と活動内容はどのようなものか。

**答** 学校評議員の委嘱は、各学校長が様々な立場の方から7人以内の評議員を教育委員会に推薦しています。また、活動としては、校長の求めに応じて、教育活動や学校活動等について意見を聞いています。

**問** 学校評議員の委嘱準と活動内容はどのようなものか。

**答** 学校評議員の委嘱は、各学校長が様々な立場の方から7人以内の評議員を教育委員会に推薦しています。また、活動としては、校長の求めに応じて、教育活動や学校活動等について意見を聞いています。



住民自治協議会発足記念事業(山田・山倉・大角地区)



子どもの歯科検診

**問** 図書館運営費について、この事業費で図書購入費の内訳はどうなっているか。

**答** 図書購入費の内訳の概要は、小見川の新図書館分に1800万円・山田100万円・栗源30万円・佐原980万円、その他DVD・CD購入に515万円・各学校への貸与分として、960万円となっています。

**問** 学校給食事業に関する業務について、市内4か所の学校給食センターを統合するにあたり、現在の各給食センターの運営状況及び、新給食センターに移行する場合、これまで各給食センターに納入していた地元業者への配慮はされるのか。

**答** 現在、小見川・栗源の給食センターは調理と配送業務を一括して委託しており、佐原・山田の給食センターについては、調理を直営で配送を委託しています。新給食センターについては、業務を一括して委託します。また、仕入れ業者の選定については、これまで4センターに納入していたすべての業者を対象に選定について検討しています。

**要望** 地元でがんばっている零細企業を是非とも大事にしていきたい。

**問** 今後の給食費の納入について、子ども手当からの引き落としをどのように考えているか。

**答** 子ども手当からの引き落としについては、保護者からの申し出により行うこととなりますが、給食費の滞納は、全国的な問題となっており、教育委員会としては、家庭状況を見ながら子ども手当からの引

き落としを行いたいと考えています。

**経済環境部関連**

**問** 府馬地区水田基盤整備事業の現在の進捗状況は、また、農地・水・農村環境保全向上対策事業で平成22年度から平成23年度が大幅に増加した理由は、

**答** 府馬地区の進捗状況は、面整備は162・7haのうち平成23年度まで126・6haが終了し、面整備に対する進捗率は77・8%。事業費ベースで27億5835万円のうち昨年度まで7億5769万3819円で進捗率は27・5%です。今後は、平成26年度までに終了できるよう農業事務所に依頼します。また、農地・水・農村環境保全向上対策事業における予算増加の要因は、新たに向上活動分、復旧活動分が加わったためです。

**問** 給水区域外飲用井戸水質検査の当面の状況はどのように推移しているのか。

**答** 検査業務は対象区域を一巡し、平成23年度は五郷内地域を実施しました。検査は市内の水質の状況を確認するためのもので、追跡調査等は行っていません。このため、井戸水は毎年1回の検査をお願いしています。

**問** 平成23年度の道の駅「の郷さわり」と「紅小町の郷」の年間売り上げと物販と飲食の売り上げ割合及び出荷

者数は。平成23年度の道の郷さわりの売上等の概要は約8億6300万円です。特産品等が約7億6400万円、フードコートが約9000万円、出荷者数は約250人です。くもりもとは売上約5億1千万円で、農産物等が約4億7千万円、レストランが約4千万円、出荷者数は約200人です。

の内訳は。

**答** 本事業は、県農業事務所が開催する農業経営体育成セミナーに3年間参加する35歳以下の方が対象となります。助成内容としては、1人あたり40万円を助成しますが、今年度は夫婦の参加があったので、2人あわせて40万円でした。新規就農者9人のうち4人の方の前職は会社員です。また、8人の方の実家は農家で、新規参入の方は1人でした。

**問** 新規就農者助成金について、事業対象者と、助成内容、新規就農者

の数は。平成23年度の道の郷さわりの売上等の概要は約8億6300万円です。特産品等が約7億6400万円、フードコートが約9000万円、出荷者数は約250人です。くもりもとは売上約5億1千万円で、農産物等が約4億7千万円、レストランが約4千万円、出荷者数は約200人です。

**問** 橋りよう長寿命化修繕計画が策定され、平成23年度の予算の繰越しがあるが、事業内容はなにか、また、平成24年度から10年間の事業費は、

**答** 震災で損傷の激しかった市道II-32号線・迎田橋の予備設計費のため



道の駅水の郷さわら大創業祭

**建設部関連**

**問** 住宅利子補給制度について、事業の対象者と、補助額の詳細、及び事業の実施期間は、

**答** 対象者は、り災証明が発行され、震災で自ら居住する住宅に被害があり、自ら居住する為に住宅の建設、購入、補修する方です。補助額は、民間金融機関等から借入れをした住宅融資資金の借入額が100万円以上で、利子補給の対象限度額は上限500万円、利子補給期間は5年間で、借入金の融資残高の年2%以内です。申請の受付期間は平成26年3月31日までとなります。

の内訳は。

**答** 本事業は、県農業事務所が開催する農業経営体育成セミナーに3年間参加する35歳以下の方が対象となります。助成内容としては、1人あたり40万円を助成しますが、今年度は夫婦の参加があったので、2人あわせて40万円でした。新規就農者9人のうち4人の方の前職は会社員です。また、8人の方の実家は農家で、新規参入の方は1人でした。

**問** 上下水道部関連

**答** 水道事業の有収率は、平成22年が84・1%から平成23年が81・1%と3%の減、簡易水道事業は、平成22年が87・1%から平成23年が81・9%と5・2%の減です。これは、震災による配水管や給水管の被害によるもの

**問** 有収率(※)と漏水について、震災前後の有収率と漏水率の変化はどうなっているのか。

**答** 水道事業の有収率は、平成22年が84・1%から平成23年が81・1%と3%の減、簡易水道事業は、平成22年が87・1%から平成23年が81・9%と5・2%の減です。これは、震災による配水管や給水管の被害によるもの



東日本大震災で亀裂が入った市道II-32号線迎田橋(小見川・山田)

たが、それ以降は実施できていません。今年度については、これから実施する予定です。

**要望** 有収率の約20%の口又は、非常に大きいと思われま。有収率の向上に一層努力されたい。

**問** 有収率の約20%の口又は、非常に大きいと思われま。有収率の向上に一層努力されたい。

**答** 9月11日から利根川の取水制限が行われたため、本市も取水制限本部を開催しましたが、今回の取水制限では市は対象になりませんでした。しかしながら今後も雨が降らない状況が考えられるため、市民にも節水を呼びかけました。



漏水工場の現場(佐原：玉造地先)

# 各常任委員会の審査から

8月30日の本会議で各常任委員会に付託された案件の審査を9月13日(木)・14日(金)に行いました。ここでは、各委員会の審査内容を質疑と答弁などに要約して掲載します。

## 総務企画常任委員会

**問** 議案第1号 平成24年度香取市一般会計補正予算(第3号)について、予防接種事業のポリオ不活化ワクチン接種への切

**答** り替えに伴い接種方法、保護者への周知、接種率は。ポリオワクチンは全て個別接種となり、8月に広報で周知し、対象

者には個別通知をしております。昨年度は、対象者1016人に対し、接種者648人で64%の接種率でした。今後も定期検診等で指導を行い、相談を受けながら接種率の向上に努めます。

**問** 緊急雇用不法投棄巡回監視・回収業務の内容及び個人の山林等に不法投棄されたものについての対応は。

**答** 4名の新規雇用者で、不法投棄の巡回調査

と必要に応じ回収を行うものです。地域の生活環境に支障を来たすなど長年の懸案となつている場所について、住民自治協議会や地区から要望があつた場合は、不法投棄防止対策などの土地所有者の同意・了承がされていることを原則に対応したいと考えています。本事業は、平成24年度の緊急雇用創出事業としての扱いとなり要綱を定め運用してまいります。

## 福祉教育常任委員会

**問** 議案第3号 平成24年度香取市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)について、平成23年度決算で介護保険給付準備基金の残高が、2億円ほどだったが、現在の基金残高は。

**答** 9月補正後の基金残高は、2億2746万2970円となります。

**問** 議案第13号 香取市立小学校設置条例の一部を改正する条例の制定について、学校統合に至るまでの経過と今後の予定については。

**答** これまで、大東分校の保護者、地域の方々に学校統合の説明会を5回行った結果、本年3月に市和・附洲新田地区の自治会長・PTA会長から新島

小学校との早い統合を望むとの地域の検討結果の報告を受けました。また、通学手段としてスクールバスを確保してほしいとの要望がありましたので、現在、円滑な統合ができるように準備を進めています。

## 反対討論

**問** 議案第14号 千葉県後期高齢者医療広域連合規約の一部を改正する規約の改正に関する協議について、住民基本台帳法の一部改正により、外国人の在留管理の更なる強化と在留資格を有しない外国人が住民基本台帳から一律に排除され行政サービスが受けられなくなる懸念があることから反対します。

議案第14号 千葉県後期高齢者医療広域連合規約の一部を改正する規約の改正に関する協議について、住民基本台帳法の一部改正により、外国人の在留管理の更なる強化と在留資格を有しない外国人が住民基本台帳から一律に排除され行政サービスが受けられなくなる懸念があることから反対します。



来年度の新島小学校との統合準備のため総務部会を開催(大東分校保健室)

**問** 陳情第14号 「保育所の設置認可等の基準に関する指針」の内容を「県条例」にすることを求める意見書の提出を求める陳情」について、香取市の公立保育所の設置基準は。

**答** 香取市では、国の省令に基づく基準を採用しています。

**問** これまでの県の指針に対して、現状は。

**答** 市内の公立保育所は、県の指針が示される前に設置されたものであり、県指針に照らし合わせますと1保育所を除いて指針を満たしています。

**問** 国の基準と県の基準の違いは。

**答** 大きなものとして、乳児室・保育室等について、国の基準に対して、県の基準は、1.5倍から3倍になっています。

## 反対討論

すでに千葉県では、保育所最低基準条例検討委員会において検討していることから、意見を述べるべきではなく、不採択が妥当であると思います。

## 賛成討論

国の最低基準に合わせた

条例となつた場合、子育て支援の条件が悪くなることから、今の県基準を守って

ほしいという本陳情に賛成します。

## 経済建設常任委員会

**問** 電気料金値上げによる補正は、今年度後半の増額分は、来年度1年間の増額分は、平均的な電気料はいくらか。

**答** 全体で概ね2割弱の値上げです。公共水道は今年度5300万円が6250万円となり、来年度は約7000万円になると見込まれます。

**問** 精度の高い見積りでの予算措置しているのになぜ最終的に補正されるのか。

**答** この度は災害関連により補正をしました。当初予算案は3月前に作成しますが、その後当初では想定できなかった事案が発生したためです。



佐原浄化センターの合流汚水ポンプ

建設中の香取市小見川市民センター(小見川支所南側敷地)



中間報告 ②

議会改革検討特別委員会

(平成24年9月21日 伊藤委員長より報告)

本特別委員会は、更なる議会改革の推進のため、8項目の検討課題を決め、6月定例会までに議会改革検討特別委員会を4回開催し6月定例会で中間報告を行いました。その後、議会改革検討特別委員会を7月30日・8月28日・9月6日・21日に開催し、9月定例会において2回目の中間報告を行いました。

報告の概要については、次のとおりです。

今回決定した事項

- ③「政務調査費の使途基準を明確化する」については、現行の使途基準に新たに「政務調査費の手引」を参考資料として各議員に配付し、運用する。
④「議会情報の公開について」は、安定した映像配信を維持するため、リース契約による運用を求める。
⑤「会派制の人数の検討を行う」については、本特別委員会として申し送りをする。
⑥「議員会派による代表質問制を採用する」については、現実的に難しく、時期尚早であり採用しない。
⑦「議会基本条例の勉強会等について」は、勉強会を行うことを決め、勉強会の開催を議会運営委員会に要望した結果、行うべきとなり、その後の取り扱いは議長に一任する。

これまでに決定した事項

- ①「議決の賛否を議員ごとに公開する」ことについては、すでに議会だよりでは第26号(8月1日発行)から、市議会ホームページでは本年6月定例会から公表しています。

継続して調査・検討する事項

- ②「議員定数について」
⑧「反問権の導入について」

7月臨時会 議員別の採決結果等一覧

(開催日 平成24年7月30日)

Table with columns for Proposal Name and various council members (e.g., 審議結果, 小野勝正, 郡茂雄, etc.) and rows for proposals 1 through 10.

※ 議長(根本太左衛門議員)は、採決に加わりません。 ○:賛成 ×:反対 欠:欠席 除:除斥
議案は、常任委員会に付託されず、採決されました。

# 9月定例会 議員別の採決結果等一覧

議案名等		議員名等	審議結果	小野	郡	小	田	奥	鈴	高	高	宇	伊	林	田	高	眞	坂	伊	柳	坂	林	河	平	堀	根	木	宇
				野	林	代	村	村	木	木	木	野	能	敏	山	岡	本	部	藤	田	本	野	松	越	本	内	井	
				正	茂	一	一	一	聖	典	寛	功	雄	行	一	正	丈	勝	友	俊	洋	幸	大	太	太	正		
				雄	良	男	昭	二	六	寛	功	雄	行	夫	剛	夫	義	則	秀	子	安	明	博	左	内	正		
議案第1号(総務企画)	平成24年度香取市一般会計補正予算(第3号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号(福祉教育)	平成24年度香取市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号(福祉教育)	平成24年度香取市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号(福祉教育)	平成24年度香取市訪問看護事業特別会計補正予算(第1号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号(経済建設)	平成24年度香取市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号(経済建設)	平成24年度香取市下水道事業特別会計補正予算(第2号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号(福祉教育)	平成24年度香取市火葬場事業特別会計補正予算(第1号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号(福祉教育)	平成24年度香取市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号(経済建設)	平成24年度香取市水道事業会計補正予算(第2号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号(経済建設)	平成24年度香取市簡易水道事業会計補正予算(第1号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号(総務企画)	香取市市民センターの設置及び管理に関する条例の制定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号(総務企画)	香取市防災会議条例の一部改正		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号(福祉教育)	香取市立小学校設置条例の一部改正		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号(福祉教育)	千葉県後期高齢者医療広域連合規約の一部改正		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号(総務企画)	財産の取得について(防災行政無線戸別受信機)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号(福祉教育)	財産の取得について(香取市学校給食センター消耗品)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号( )	工事請負契約の締結について(新島学校校舎新築復旧工事)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第1号(決算審査)	平成23年度香取市一般会計歳入歳出決算		認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第2号(決算審査)	平成23年度香取市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算		認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第3号(決算審査)	平成23年度香取市介護保険事業特別会計歳入歳出決算		認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第4号(決算審査)	平成23年度香取市訪問看護事業特別会計歳入歳出決算		認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第5号(決算審査)	平成23年度香取市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算		認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第6号(決算審査)	平成23年度香取市観光事業特別会計歳入歳出決算		認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第7号(決算審査)	平成23年度香取市下水道事業特別会計歳入歳出決算		認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第8号(決算審査)	平成23年度香取市土地取得事業特別会計歳入歳出決算		認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第9号(決算審査)	平成23年度香取市火葬場事業特別会計歳入歳出決算		認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第10号(決算審査)	平成23年度香取市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算		認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第11号(決算審査)	平成23年度香取市水道事業会計決算		認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第12号(決算審査)	平成23年度香取市簡易水道事業会計決算		認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第1号( )	人権擁護委員の候補者の推薦(香取市下小野 多田 博 氏)		適任者と決定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第2号( )	人権擁護委員の候補者の推薦(香取市佐原イ 小林 尚英 氏)		適任者と決定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第3号( )	人権擁護委員の候補者の推薦(香取市篠原イ 岡澤 栄子 氏)		適任者と決定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第4号( )	人権擁護委員の候補者の推薦(香取市寺内 鈴木美恵子 氏)		適任者と決定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第5号( )	人権擁護委員の候補者の推薦(香取市山倉 越川 芳明 氏)		適任者と決定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第6号( )	人権擁護委員の候補者の推薦(香取市佐原イ 八木 秀子 氏)		適任者と決定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議案第1号( )	専決処分事項の指定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第14号(福祉教育)	「保育所の設置認可等の基準に関する指針」の内容を「県条例」にすることを求める意見書の提出を求める陳情		不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	

## 市議会を傍聴しませんか

※ 議長(根本太左衛門議員)は、採決に加わりません。 ○：賛成 ×：反対 欠：欠席 除：除斥  
 ※ 議案番号下の( )は、付託委員会名です。

### 12月定例会の予定

- 11月29日(木) 本会議
  - 12月3日(月) 本会議
  - 6日(木) 本会議(一般質問調整日)
  - 7日(金) 本会議(一般質問調整日)
  - 10日(月) 本会議(一般質問調整日)
  - 11日(火) 総務企画常任委員会  
福祉教育常任委員会
  - 12日(水) 経済建設常任委員会
  - 17日(月) 本会議
- ※12月定例会での請願・陳情の受付は、11月20日(火)午後4時まで

### 市議会会議録の閲覧等について

- ◆インターネット  
香取市のホームページ、市議会の「会議録検索」をクリックしますと定例会・臨時会の会議録などが閲覧できます。  
※平成24年9月定例会の会議録がご覧いただけるのは、11月中旬頃になります。
- ☆香取市のHP  
<http://www.city.katori.lg.jp/> から市議会のページを選択してください。
- ☆香取市議会HP ※12月定例会日程の予定も掲載しています。  
<http://www.city.katori.lg.jp/gikai/> からご希望のアイコンを選択してください。
- ◆その他  
市役所(本庁)1階の情報コーナー及び6階の議会事務局、佐原中央図書館・小見川図書館で閲覧することができます。

◆上記は、予定であり、変更となる場合があります。  
 詳細は、議会事務局まで TEL 50-1217